

専大校友を訪ねて

中国遼寧省瀋陽出身。2003年に来日し日本語学校に2年間通った後、専大に入学した。松岡啓祐ゼミでは会社の成り立ちや企業法則などを学んだ。成長性豊かな中小企業に興味を持ち、「自ら起業する」夢を育んだ。

1年次には王仲子国際コミュニケーション学部教授の指導のもと、留学生日本語スピーチコンテストに参加し優勝。2年次には1年間休学し、ニューヨークに語学留学をした。日本語・英語ともに習得に苦労したが、「将来絶対に必要になる」という強い気持ちで学び、身につけた。在学中、精力的に行動を起こした李さんは「学生時代にできないことがある。限られた時間を有効に使ってさまざまなことに挑戦してほしい」と在学生にアドバイスする。

李 振全さん (平22法)

非鉄金属商社を経営



卒業後は旅行会社に就職。その後、将来の起業を見据え、グローバルに働ける非鉄金属商社に転職した。「商品知識、貿易実務、商談スキルなど現在の仕事の土台はすべて、このときに培った」と当時を振り返る。そして16年、子どもの

起業の夢を実現 社会に恩返しをしたい

誕生を機に大きな決断をする。経験を生かし、非鉄金属と樹脂の輸出入を手掛けるEBC株式会社を設立。学生時代からの夢をかなえた。しかし現実はいくなく、起業直後は仕事に恵まれない状態がしばらく続いた。それでも諦めることなく、顧客の困り事を地道に解決し信頼関係を構築。徐々に取引を広げていった。現在は得意の語学を生かして中国や韓国、ドイツなどにネットワークを築き、高品質の商材を日本国内に供給。「世の中に必要とされる会社に成長させたい」と笑顔で語る。

プライベートでは多忙な仕事の合間を縫ってランニングを楽しむ。フルマラソンを3時間以内で完走する「サブ3」が目下の目標だ。数年前からは視覚障がい者の伴走ボランティアも始め、練習会や大会に定期的に参加している。また、中国語を学びたい人たちに会話の機会を提供する「おしゃべり会」を開催し、延べ3500人の学びをサポート。来日した留学生の支援にも尽力するなど、日本と海外の民間交流に積極的に関わり続けている。

「今の自分があるのは、学生時代に手を差し伸べてくれた多くの人たちのおかげ。少しでも恩返しできればうれしい」と話す李さん。これからも仕事に、趣味に、社会貢献活動に全力で取り組んでいく。

商・太田教授著『日本の道路政策』

路政策の全体像を分かりやすく解き明かした。太田教授は同著で、2020年度日本交通学会賞も受賞している。

業績を挙げた女性を顕彰することを目的に、2016年度に創設された。久木元教授は都市地理学が専門。16年には『保育・子育て支援の地理学』(明石書店)を発表し、子育て支援の多方面分野には「地域差」が重要だと指摘。今回の受賞にあたって、「地理学界に女性の経験や関心に取り組みだ新しい研究領域を切り開いた」と評価された。

下旬に配信予定の「インターンシップESの書き方(自己理解・自己PR編)」「ガクチカ・志望動機編」が役立つはず。ぜひ視聴してみてください。

文・久木元教授 第5回小泉郁子賞を受賞

久木元美文学部教授が、お茶の水女子大学賞の「第5回小泉郁子賞」を受賞した。

小泉郁子賞は、人文社会科学の諸分野で顕著な

賞を受賞した。賞に

を

を

『大学史紀要』第13号刊行

『専修大学史紀要』第13号が発刊された。本学大学史資料室編。巻頭に日高義博理事長と佐々木重人学長による対談「大学改革の10年と創立150年に向けて」を掲載。講演録では、2020年1月に行われた日高理事長による「人権と罪刑法定主義」を採録した。

『大学史紀要』は希望者に配布する。送料390円分の切手を同封の上、氏名、送付先を明記し、〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8-8 専修大学大学史資料室に郵送。

京都市千代田区神田神保町3-8-8 専修大学大学史資料室に郵送。

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8-8 専修大学大学史資料室に郵送。

就職だより

「4年次生へ」相談の様子を見てみると、志望動機の構築に苦心している人が多いようです。面接で志望動機を問われた時には、自分が何を志しているか、どのよう

に臨みましょう。面接で志望動機を問われた時には、自分が何を志しているか、どのよう

に臨みましょう。面接で志望動機を問われた時には、自分が何を志しているか、どのよう

に臨みましょう。面接で志望動機を問われた時には、自分が何を志しているか、どのよう

2021年度育友会定期総会 書面表決で実施

本年度の育友会定期総会は6月5日(土)に開催し、重要事項をご審議いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会員皆様の招集開催を行わず、書面表決とさせていただきます。議案等の詳細は、5月上旬より育友会ホームページで公開の「令和3年度定期総会資料」にてご確認ください。

【育友会ホームページ】
<https://www.ikuyuu.com/>



校友会情報

▽大分県豊後高田市市長選挙(4月18日無投票)
佐々木敏夫氏(ささき・としお)昭40(経済)再選

校友新社長 紹介

岡田靖氏(おかだ・やすし)平5(経済)オリックス・クレジット(株)取締役社長に1月1日付で就任。本社(東京都)個人向け金融サービス業。二宮康真氏(このみや・やすまさ)平7(文)テニスタルハーツホールディングス代表取締役社長に6月24日付で就任。本社(東京都)ソフトウェア検証などを行う子会社等の経営管理。

専修人の新しい本

「どうして私は」と落ち込んでいませんか? 「生きづらさ」の正体をテーマにした本書を上梓した。



荒木和子 著

著者の荒木和子さん(平元文)は本学で心理学を学び、現在は臨床心理士として活躍する「心のケアの専門家」。福祉

ひとりで悩まずハラスメント対策室へ

大学で学生および教職員の皆さんが、大いに勉学に励み、それぞれの職域で研究・教育・労働に専念することは貴重な権利です。良好な勉学・研究・教育および労働環境が保持されなければなりません。しかし、たいへん残念なことに、キャンパス・ハラスメントは後を絶ちません。

ハラスメントは、職務上の地位や人間関係を背景に、相手側の意に反する不適切な発言や行為等(言動)を行うことによって、相手方の人格や尊厳を大きく損なう人権侵害行為であり、良好な勉学環境、研究・教育環境、そして労働環境を悪化させます。

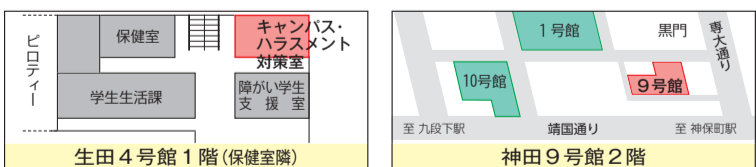
このように、学問と教育の府である専修大学は、ハラスメントは人権侵害であり、命を落とさないこともありません。個人(キャンパス・ハラスメント対策室長 内藤光博)の尊厳と人権を守る



「どうして私は」と落ち込んでいませんか? 「生きづらさ」の正体をテーマにした本書を上梓した。

ハラスメントの相談は対策室へ

※対面での相談は予約制です



キャンパス・ハラスメント対策室 E-mail camhara@acc.senshu-u.ac.jp

専修大学・石巻専修大学 「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金

皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。詳細はQRコードから



専修大学募金局 TEL: 03-3265-3157 E-mail: bokin@acc.senshu-u.ac.jp